

【町長】

通告順	1	質問議員	鵜野議員
質問項目	後継者が安心して仕事ができる環境づくり、所得対策について		
質問内容	<p>近年沼田町では、農家子弟の後継ぎがUターン就農するケースが多くなっています。さらには新規就農者、法人等で農業に携わる若者も増えています。</p> <p>これは、これまで長年にわたり町が取り組んだ農業政策（ファクトリーの建設、農地流動化対策、新規作物に向けたハウスの補助など）の成果（所得の向上）と考えられます。</p> <p>しかしながら、今後の米をめぐる環境は非常に厳しくなる事が考えられる事から、若い後継者が安心して仕事ができる、さらなる環境の整備が必要と考えられます。</p> <p>町長はこの6年間の農業政策（所得政策）の柱を何と考え、どう取り組んできたのか。</p> <p>今後の取り組みをどの様に考えるか。</p>		

通告順	2	質問議員	長原議員
質問項目	我が町の「ふるさと納税」の取組は		
質問内容	<p>ふるさと納税制度はここ数年注目され、年次ごとに沼田町への寄付金の金額も増加しています。</p> <p>このことは、寄付金による所得税、住民税の税額控除が受けられ、合わせて町からの返礼品を受け取れる事、寄付金の指定が出来る事、又複数の地域指定も出来るなど納税者のメリットがある事だと思います。</p> <p>昨年度よりワンストップ特例制度により、サラリーマンなどは確定申告が不要となり、更にふるさと納税が増加すると思われます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 沼田町のふるさと納税のここ数年の税額の推移は 2. 返礼品もバリエーションが多くあるが主なものは何か 3. 納税額が増加する事で地方交付税が減額することはないのか。 <p>以上、町長の考えを聞きたい。</p>		

通告順	3	質問 議員	長原議員
質問 項目	電気自動車及び、充電設備の導入は		
質問 内容	<p>近年は自動車の排出ガスの基準が厳しく、更に燃料の価格も上昇傾向にあり、当町でもハイブリッド車を導入する世帯も多くなってきています。今後はPHV車、EV車など電気自動車の価格が一般車の水準になれば普及してくると思われます。</p> <p>町の公用車も一部ハイブリッド車を使っているようですが、電気自動車は現状の価格はまだ高いようですが補助金なども使い、環境対策の観点から公用車として導入の考えはないか。</p> <p>また、電気自動車の充電設備も近隣の町ではすでに導入されていますが本町は導入の考えはないか聞きたい。</p>		

通告順	4	質問 議員	杉本議員
質問 項目	地域包括ケアの中で医薬分業とかかりつけ薬局の今後の役割		
質問 内容	<p>町立クリニック・地域密着多機能総合センターオープンに向けて、町民が受診しやすい医療機関・利用し易い薬局、患者の薬物治療の安全性・有効性の向上、更に地域包括ケア機能を生かした医療費の適正化等、かかりつけ薬局の今後等、情報公開や町民の理解を求める指導が急がれるのでは。</p> <p>1. 町立クリニックオープン時から門前薬局が開業します、現在の医薬分業のメリットが国民に実感されておらず 2025 年迄にすべての薬局をかかりつけ薬局へと機能の充実を目指していますが、町の情報公開は</p> <p>2. かかりつけ薬局には高度の役割もありますが、町はかかりつけ薬局の役割の中で、薬中心の業務から患者中心の業務へ専門性と患者とのコミュニケーションとして薬の丁寧な説明や電話相談などの他に何が出来るのかICT機能等の対応は</p> <p>3. 地域包括ケアとの連携による丁寧な服薬指導や残薬解消・後発医薬品などの指導等で国保会計の適正化の考えは</p>		

通告順	5	質問 議員	杉本議員
質問 項目	農業近代化に対応した農業基盤整備の早期完成への支援を		
質問 内容	<p>現在経営体育成道営事業が、平成22年採択31年完工を目指して、面積約1168ヘクタールの事業を実施しています。</p> <p>今年度新たに圃場整備要望アンケート調査がされ、8月に集計された面積は約513ヘクタールになり、5年後採択を目指しています。</p> <p>更に灌漑用排水の整備も計画に入れていますが、急がれると思うのですが、町や農業団体の支援体制を強化して、全町田畑の全整備完工を基本にした計画にしてはどうか。</p> <p>1. 全農業経営者の合意が必要になります。小作者関係者、経営移譲希望農業者、農地取得希望農業者、換地等の希望者等計画段階の合意</p> <p>2. 圃場整備関係は現在特別賦課金となっており地権者の負担になっております、経営体育成道営事業は15年償還となっておりますが、償還期間中や経営期間によって地権者だけでなく農地移譲者の負担割合で検討してはどうか</p> <p>3. これらについて町や農業委員会で具体的に検討した経過はあるか、無ければ第3者委員会で検討しルール作りをして農業者や関係者の合意を得てははどうか</p>		

通告順	6	質問 議員	小峯議員
質問 項目	町民会館の今後の利用をどうするのか		
質問 内容	<p>町民会館の利用状況は近年は特定の催しのための使用に限られてきているように感じられます。</p> <p>以前は、結婚式や映画鑑賞などいろいろな行事が町民会館であって町民が集まる機会が多くあったと思われたのですが、最近は少なくなったように感じます。</p> <p>また建物の内装などの老朽化が目立ってきたと感じるのですが、現状をどのように把握して今後どのようにしていくのか、以下の3項目を質問します。</p> <p>(1) 平成27年度の年間の利用は何日か</p> <p>(2) 町民会館の利用を現状維持など、今後どのように考えているのか。</p> <p>(3) 会館の補修箇所をどのように把握して、修繕をどのように考えているのか</p>		

通告順	7	質問 議員	橋場議員
質問 項目	カラスと熊に対する対策について		
質問 内容	<p>(1) カラスについて。 ゴミの収集日にゴミを出すのが収集車がくるまで見張りをしていなければならないとこまっています。 実はゴミ袋保管の設備設置に対する町の助成制度が有り「お知らせ」版で公報してるが十分知られていないのではないかと。</p> <p>(2) 熊について。 沼田四のブドウ畑から五ヶ山方面を歩きまわる熊捕獲のために箱ワナを購入したけれども捕獲には致りませんでした。芦別市で猟友会の方が、熊7頭を箱ワナで4頭捕獲、3頭を射殺したとききました。担当者を派遣して研究してもらってはどうか。 沼田四や五ヶ山を歩きまわっている熊がどこの出かわからないが外に更新2・3方面、真布方面、幌新方面、浅野・昭和方面にそれぞれ居るようだ。 幌新の熊は道々をまたいで行き来しています。箱ワナをもう一個購入してはどうか。</p>		

通告順	8	質問 議員	橋場議員
質問 項目	「空き家対策特別措置法」のとりくみはどのようになっているか		
質問 内容	「特定空き家等」の定義が定められ、その措置に対する町長の権限も規定されました。施行に当っては人権尊重に注意を払う事を望みますが具体的に進めている事はあるか。		

通告順	9	質問 議員	橋場議員
質問 項目	JR北海道は9月に鉄道線路の見直しを提案すると発表しました。国民の交通を守るべき公共交通を民営化した事のまちがいをして廃線させない運動が必要と思うが町長の考えを問う		
質問 内容	<p>JRは「単独で維持可能な線区」と「単独で維持困難な線区」に分けて地域と相談すると発表しました。 鉄道の廃止は国が進める「地方創生」と相反することです。 北海道は採算の厳しい路線が多く経営努力だけでは限界のある事を分割民営化の時点でわかっていた事だと言います。 分割民営化は1987年4月1日とその初年度1987年（S62年）度のJR7社の決算は次のようになっていました。JR7社全体の営業収</p>		

質問内容	<p>入全体に占めるＪＲ北海道の割合は２．５％、ＪＲ四国１％、ＪＲ九州３．６％だった。</p> <p>ＪＲ北海道全体の営業収入（９１９億円）は東京駅の収入（１，０００億円）より少なくＪＲ四国全体の乗客数は品川駅の乗客数とほぼ同じ程度であったし、ＪＲ東日本１社だけでＪＲ７社の営業収入の４３．１％を占めていたと言う事です。</p> <p>ひるがえって食糧自給率を見ると２０１２年の北海道はカロリーパーセントで２００％で東京都は１％だそうです。</p> <p>国民みんなが幸せに暮らすのには「持ちつ持たれつ」が必要ではないか。町民・道民の足を守る立場で声をあげてほしい。</p>
------	---

通告順	１０	質問議員	橋場議員
質問項目	環太平洋連携協定（ＴＰＰ）には一層反対の声を上げるべきだと思うが町長の考えは		
質問内容	<p>参議院選挙の自民党選挙公報ではＴＰＰについて触れていなかったが選挙が終ると安倍首相は「私の臨時国会でＴＰＰ批准を目指して全力を尽くす」と前のめりです。</p> <p>ＴＰＰは農業だけではなく、国民の命にもかかわる問題も含んでいるので強く反対していかなければと思うが、どう考えますか。</p> <p>米について言えば沼田では一戸で３０ヘクタールを耕作していると聞けば「すごい」とおどろきますがアメリカの稲作農家は１枚３０ヘクタールの田んぼを計千ヘクタール（一戸で）を耕作している稲作経営に勝てるはずがないと学者の声です。</p> <p>「歯止めがある」と言ってもアメリカ言いなりの安倍政権はなしくずしに歯止めをはずしていくのは目にみえていると思わないか。</p>		

通告順	１１	質問議員	大沼議員
質問項目	リノベーションの助成について		
質問内容	<p>８月２２日、第７回の臨時議会において「空き家再生案見える化事業」１６，３３６千円が議決されました。</p> <p>若い世代の住まいが不足していることから町が空き家のリノベーションにかかるデザイン等を先行して行い移住定住の推進と空き家の解消を図ることを趣旨にしていたと思います。</p> <p>しかし、魅力的な完成イメージや見積り内容をＰＲしても、リノベーションにかかる費用の応援をしないと定住促進は難しいと思います。現行の助成制度にリノベーションの助成を新たに加えることによって住宅取得において、選択肢が拡がり住み良い住宅の取得につながります。フロー型社会からストック型社会に移行しているいまこそ、リフォームとリノベーションの違いを意識し進めることが必要と思います。</p>		

質問 内容	町長はリノベーションの助成についてどのように考えますか。 また、ストック型社会についての所信を尋ねます。
----------	---

【教育委員長・教育長・町長】

通告順	1	質問 議員	久保議員
質問 項目	10月4日、町民出身の「教育委員長」が廃止になる。これからは、町民が教育に意見し参加する場を、どのように作るのか		
質問 内容	<p>教育委員長を廃止する国の理由に、「形骸化」があります。そうであれば、学校評議員も「形骸化」しています。しかし、歴代の教育委員は見識も行動力もある方が多く、「形骸化」の原因は人物ではなく、制度にあったと思います。ですから、「形骸化」されたから廃止して合理化するのではなく、「形骸化」をもたらした制度の欠陥こそ修繕すべきです。今回の制度の改正にあたり、今までの問題点を克服しておかないと、「制度を変えることが解決である。」との間違いにおちいります。</p> <p>また今回の制度改革で、学校教育の現場に「町民」、「町外から来た教師」、「教育委員会」に加え、「町長」のリーダーシップが大きくなります。これら4者を横串でつないでいく存在として新設された『総合教育会議』の役割は重要になります。このように学校は複雑化してゆくのので、「町民」は専門外かつ非常勤であるために、意見と参加が増えると現場が混乱する心配を持つ方もいらっしゃるかもしれません。しかし沼田町では一方で夜高あんどん祭りなど「町民」や「保護者」がエンジニアとして学校の現場で重要な役割を果たしている事実からも、混乱を超える価値を教育に取り入れるタフさこそが沼田学園ならではの魅力につながると思います。クラブ活動も、同様です。</p> <p>以上を踏まえ文部科学省が指示する4つのポイントに沿って質問します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町長による教育長の任命で、教育以外の町の案件をどう取り入れるのか。 ・「透明化」を担保するために、『総合教育会議』の「傍聴者、無し」を無くす。事前の町民への告知の徹底。保護者に「意見聴衆者」になっていただくか。 ・教育委員の「形骸化」を制度でふせぐためにも、年に数回の『総合教育会議』において全委員がテーマをしぼった意見発表や一般質問をすべきだが。 ・町長が策定する教育『大綱』に、町民の参加をどのように明記すべきか。 		